

ECO Garden Green Mill

取扱説明書

エコガーデン 園芸用電気粉碎機 グリーンミル ディスク式

MLC-1500D



このたびは本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書は運転操作および保守上の重要な項目について説明したものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、お使いになる方がいつでもご覧
いただけるように大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。



注意

軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



注意

この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

- この取扱説明書は本機を操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
- 本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
- 紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。



危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。



禁止

感電の恐れがありますので、下記のことを守って作業する

- 雨中での作業はしないでください。
- 雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
- 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
- 濡れた手でスイッチ、電源プラグに触れないでください。

安全にお使いいただくために



危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

- 商品到着の際に、梱包箱に大きな破損があった場合や、本機に異常が見られた場合には、ご使用前に必ず確認して正しい状態でご使用ください。
- 整備点検・部品交換の際は、必ず本機のスイッチをOFFにして停止し、電源コードをコンセントから抜いてください。



よく読む

使用前に必ず取扱説明書をよく読む

- 本機を使用する場合は、操作手順や注意事項などをよく読み必ず守ってください。取扱の方法・作業の仕方等を習得してから慎重に作業をしてください。



禁止

ご家庭の剪定後の生木粉碎作業以外には使用しない

- 本機は剪定後の生木粉碎のために設計・製造されていますので、園芸用の剪定枝の粉碎以外には使用しないでください。目的以外で使用されますと、ケガや事故の原因になります。また本機の寿命を縮めたり破損する恐れがあります。
- 剪定したばかりのやわらかい生木でお使いください。
硬い木や、竹・つる・葉や雑草、乾燥した枝を入れたり、細い枝を束にして入れると本機の故障の原因となります。
- 濡れた枝・枯葉等を投入すると排出口で詰まることがあります。

刃部に手足等、身体を近づけない

- 作業時、本機の点検・調整・手入れなどを行う場合は、特にケガ防止の為に必ず革手袋等を着用してください。
- 投入口や排出口などに手を入れないでください。手が切れる恐れがあり大変危険です。始動前には投入口内に何も無い事を確認してください。
- 投入口に顔を近づけないでください。枝等が飛び出してきた場合、目等に当たる恐れがあり大変危険です。
- ご使用中に異常音がしたり異常な振動が感じられた場合は、すぐに電源を切り使用を中止してください。大きな振動は、一般的にトラブルの警告です。
- 排出口に手や足、顔を近づけないでください。粉碎物が排出されますのでケガをする恐れがあり危険です。

傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしない

- 凸凹地や傾斜地で使用をすると、本機がバランスを保つことができず横転し事故が発生する恐れがあります。

子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 本機に子供や物品を乗せたり、子供に操作をさせないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- 疲れている場合は使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- 各部のカバー類を外した状態では危険ですので、使用しないでください。

安全にお使いいただくために



点検・確認

使用前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 正常でない機械を使用するとケガや故障の原因になりますので、各部の点検・調整及び組立方法を確認してください。
- 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に動作するか充分点検してください。
- 本機の組立および調整を適切に行ってください。
- もし本機に異常がある場合は使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機のラベルに記載されている電気規格がコンセントの仕様に合っているか確認してください。
- 電源コードを引いて本機を移動させないでください。
- 電源コードに損傷がないか充分確認し、損傷があれば本機を使用しないでください。



必ず守る

次の場合は本機の電源コードをコンセントから抜く

- 下記の場合は、必ず本機のスイッチを切り、電源コードを外し、刃が停止していることを確認してから行ってください。
- 組み立てる時、整備点検・部品交換・修理を行う時。
- 使用中に異常を感じた時。
- 持ち運びする時。掃除等をする時。使用しない時。保管する時。本機から離れる時。
- 粉砕物が詰まった場合はスイッチをOFFにして本機を停止し、電源コードをコンセントから抜いて取り除いてください。

子供やペットを近づけない

- 作業時に粉砕物等でケガをする恐れがありますので、作業員以外は作業場に近づけないでください。
- 子供のいる近くで使用したり、また子供に使用させたりしないでください。

作業に適した服装で作業する

- 操作時および各部の点検、整備、調整及び粉砕作業時は常に安全面に配慮し、ゴーグル、手袋、安全靴、耳栓等を着用してください。袖・裾にダブつきのない長袖・長ズボンなどの作業服を着用し、紐やネクタイがぶら下がった服の着用はしないでください。

- 粉砕する枝の中に金属・ガラス・石等がないかよく注意してください。
- 本機を始動する前に、投入口に何も入っていないことを確認してください。
- 作業中には収集ボックスが満杯になっていないか確認して、粉砕物が排出口付近に蓄積しないように注意してください。
本機の排出口が詰まると粉砕物が排出されず、投入口の中に枝等が詰まってしまいます。

安全にお使いいただくために



注意

軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。



必ず守る

本機をぶついたり、落下させたり強い衝撃を与えない

- 本体に破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 機械の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品を使用し交換してください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。

規格に合った延長コードを使用 (15A・2.0mm²)

- 延長コードを使用すると能力が低下します。
- コードは10m以上長くされると、電圧の低下により安全装置が誤作動したり、標準の能力が発揮できない場合がありますので、コードリールなどの延長コードは使用しないでください。

家庭用 100V電源を使用

- AC電源100V仕様のため（日本国内仕様）正常に作動しなかったり、仕様通りの能力が出ない場合があります。
また本体に支障が出る場合がありますので、発電機の使用は推奨しません。

作業後の注意

- 作業が終了した際は、必ず本機スイッチを停止してから電源プラグを抜いてください。

使用後や収納保管時の注意点

- 使用後は必ず手入れをして、湿気の少ないところに保管してください。湿気の多いところではサビが発生し、故障の原因となります。
- 収納時は、本機が倒れても危険のないようにしてください。
- 使用後はお子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。

安全にお使いいただくために

警告・注意ラベルの貼付位置

安全に使用していただくために、本機には警告・注意ラベルが貼ってありますので、確認してからご使用ください。

なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。



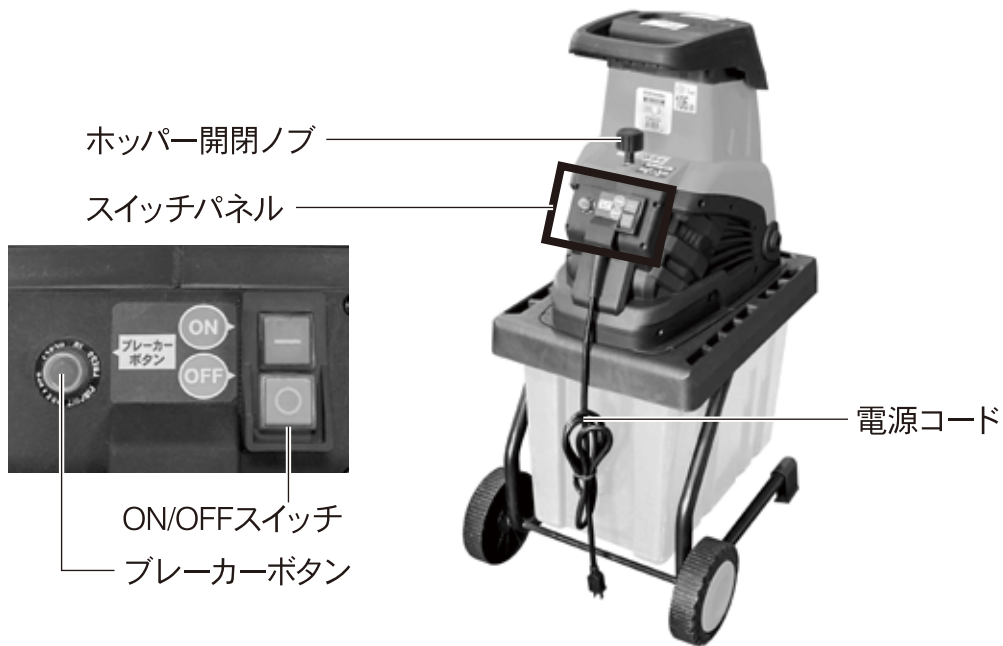
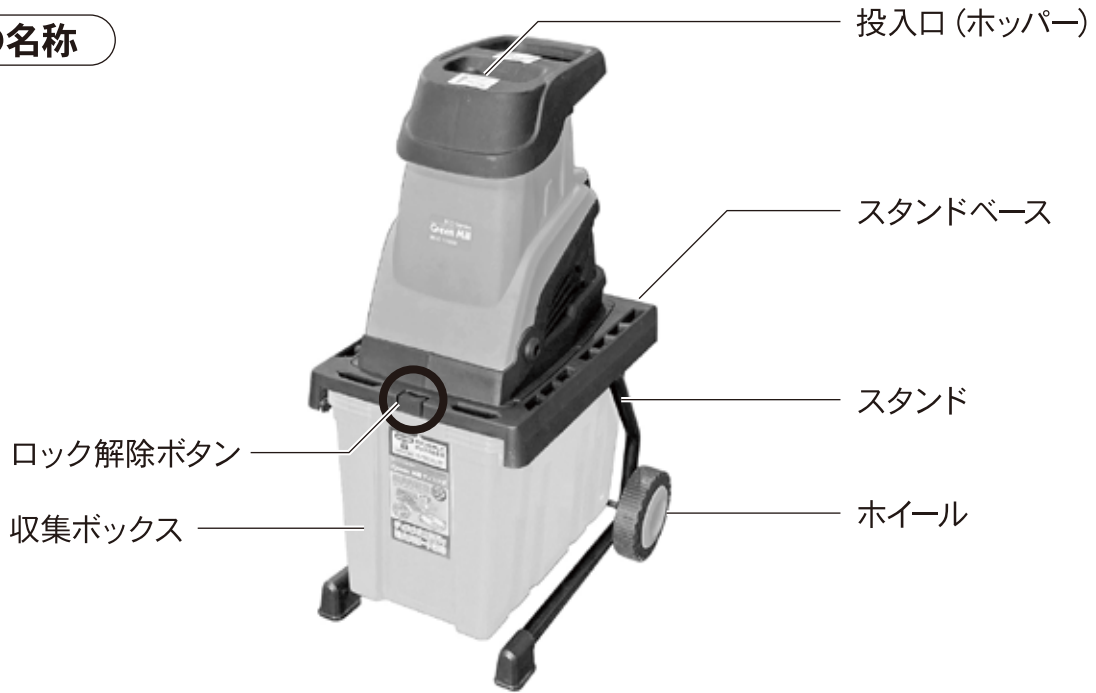
	機械の運転中は、手足を開口部に近づけないでください。		危険：回転刃 本機が動いているときは、投入口及び排出口に手や足を近づけないでください。
	警告：飛散物 本機をお使いになるときは、近くに他人がいないか注意をしてください。		作業範囲に他人を近づけないでください。
	本機から離れるとき、整備点検、修理などをする際には常に本機のスイッチを切り、電源プラグを外し、回転刃が停止していることを確認してください。		電源コードが切れた場合は、直ちに電源から本体プラグを抜く事。
	本機を使用する前に必ず取扱説明書をお読みください。		手袋を着用してください。
	目や耳の保護具を付けてください。 本機をお使いになるときは、常に安全ゴーグルや耳保護具を使用してください。		作業に適した安全靴を履いてください。
	雨濡れ厳禁。 雨中での作業、雨上がりや散水直後の作業はしないでください。雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。		使用後は電源から本体プラグを抜いてください。

【 二重絶縁 】 二重絶縁とは、電気回路と使用者との間が異なる二つの絶縁物により遮断され、感電に対しての安全性が高くなった構造を言います。
そのためアース（接地）する必要がありません。



各部の名称と仕様

各部の名称



ON/OFFスイッチ
ブレーカーボタン

仕様

型 式	MLC-1500D
寸 法	約長さ 560×幅 445×高さ 890mm
重 量	約 11.7kg
定 格 電 圧	100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	1500W
電源コード長さ	5m

定 格 時 間	連続
絶 縁 方 式	☐ 二重絶縁
安 全 機 構	モーター焼損防止機構 安全スイッチ (2カ所)
粉 碎 能 力	~φ35mm (生木の場合。木の種類・状態によって異なります。)
刃 回 転 数	4100rpm (無負荷時)
収集ボックス容量	50L

本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

各部の名称と仕様

梱包明細



①-A ホイール …… 2

①-B ホイールカバー …… 2



② 軸スリーブ …… 2



③ 平ワッシャー …… 4



④ ホイール軸 …… 1



⑤ ナット …… 2



⑥ スクリューブッシュ …… 4



⑦ スクリュー …… 4



⑧ スタンド …… 2



⑨ 本体 …… 1



⑩ スタンドベース …… 1



⑪ 収集ボックス …… 1

付属品

⑫ ゴーグル …… 1



⑬ 手袋 …… 1



⑭ 押し込み棒 …… 1



⑮ スパナ 10mm …… 1



⑯ 六角レンチ 6mm …… 1



! 注意



必ず守る

開梱・組立作業は、けが防止のために充分注意して行い、作業者は安全靴・手袋を着用してください。

- 段ボールを開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。
- ※ 箱、梱包材は収納時や移送時に必要です。大切に保管してください。

組み立て

⚠ 注意



刃物注意

本機の組み立てや各部の調整を行う場合は、ケガ防止のために必ず手袋を着用し、刃部に充分注意してください。

準備していただくもの：プラスドライバー

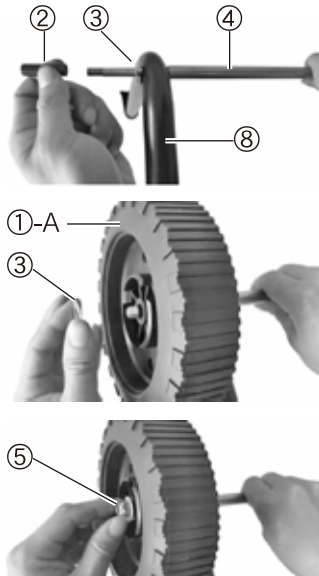
1. スタンドにホイールを取り付けます。

⑧スタンドに ④ホイール軸を通し、③平ワッシャーと②軸スリーブを取り付けてください。

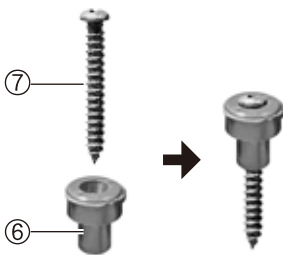
①-A ホイール、③平ワッシャーを取り付けます。

次に⑤ナットを仮止めします。

反対側のホイールも同じ手順で取り付け、仮止めしてください。

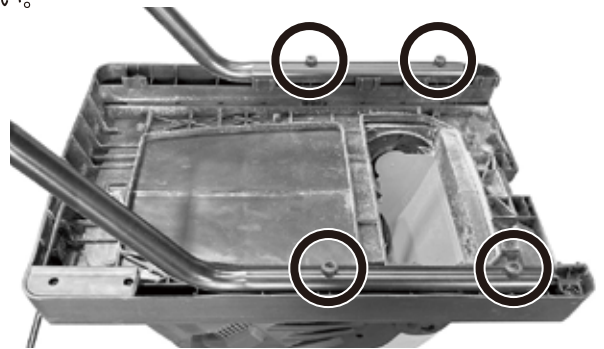


2. ⑥スクリーブブッシュに⑦スクリューを通します。



3. 本体を逆さにして置き、スタンドベースと本体の形状が合うように乗せ、1で組み立てたスタンドをスタンドベースに取り付けます。

2でセットした⑥スクリーブブッシュ・⑦スクリューをプラスドライバーで図の位置に固定してください。



4. 付属品のスパナ⑩で左右のホイール外側のナットをしっかり締め、①-B ホイールカバーを取り付けてください。



5. 本体部分をしっかりと持って上下の向きを戻してください。

⑩スタンドベースの下に⑪収集ボックスを差し入れてください。



操作方法

注意



必ず守る

作業時は安全の為、必ずゴーグル・手袋・安全靴・耳栓等を着用してください。
本機は園芸用粉碎機ですので建築端材や角材等はいれしないでください。

安全装置

- 収集ボックスを、ロック解除ボタンがある側から本体下のスタンドベースの溝に入れてセットしてください。
(写真参照)
- ボックスの取り付け
スタンドベースの溝に合わせスライドさせて奥まで押し込み、ロック解除ボタンを押しセットしてください。
- ※ **ボックスが正確にセットされていなければ、電源が入りません。**
- 収集ボックスを引き出す際には、ロック解除ボタンを押して脱着してください。



スイッチパネル

ブレーカーボタン



ON/OFF スイッチ

ON (緑)

ON/OFF スイッチ

OFF (赤)

ON/OFFスイッチ

- 緑色 : ON (—) スタートボタン … 粉碎機始動
- 赤色 : OFF (○) 停止ボタン … 粉碎機停止

ブレーカーボタン

- 過負荷保護機構
スイッチボックスにはブレーカースイッチが装備されており、モーターに異常な負荷が生じた場合にはプロテクターが作動し、電源が自動的に切れます。
- 過負荷保護機構が働いて停止した場合にはまずコンセントを抜き、約2~3分待ってからブレーカーボタンを押して解除してください。次にONボタン(緑)を押して再始動してください。
それでも動かない場合は、開閉ノブを回しホッパー部を開け、原因となるブレードに食い込んだ枝等の障害物を取り除いてください。ホッパーを閉じ、確実に固定されるまで開閉ノブを締め付けた後、約2~3分待ってからブレーカーボタンを押して解除してください。次にONボタン(緑)を押して再始動してください。
- 連続使用でモーターの温度が高くなった場合はプロテクターが作動しやすくなっていますので、しばらく時間をあけて温度が下がった状態でご使用ください。

操作方法

粉碎機の始動

1. カバー及びブレード等のゆるみや脱落がないことを確認し、収集ボックスを正常にセットした後、電源コードをコンセントに差し込みます。
2. ON/OFFスイッチのONボタン（緑）を押すと電源が入ります。必ず高速回転になってから枝等を入れてください。
3. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押すと停止します。
4. 細かい小枝・葉等が投入口付近で溜まったりした場合、付属の押し込み棒をご使用ください。
太い枝などを粉碎する時は、過負荷によりモーターの回転が急激に低下しますので、投入物を引き戻し、モーターの回転が上がってから少しづつ処理してください。
5. 木を噛みこんで過負荷保護機構が働いて停止した場合には、まずコンセントを抜き開閉ノブを回しホッパー部を開けます。原因となるブレードに食い込んだ枝等を取り除き、ホッパーを閉じて確実に固定されるまで開閉ノブを締め付けます。約2～3分待ってから、ブレーカーボタンを押して解除してください。
次にONボタン（緑）を押して再始動してください。（P12参照）

※ ブレードはスイッチをOFFにした後 4～5秒間は回転していますのでご注意ください。



収集ボックスがいっぱいになったら

1. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押して停止し、電源コードをコンセントから抜いてください。
 2. 収集ボックスのロック解除ボタンを押して収集ボックスを引き出し、粉碎物を捨ててください。
- ボックスに粉碎物が入って重くなった状態の時は、スタンドベースの溝にセットしにくくなりますので、粉碎物を捨てて軽くしてからセットしてください。
 - 粉碎して排出された枝はボックスの前側にたまるようになっていきますので、時々作業を中断してボックス内を確認してください。



作業時の注意事項

- 投入口内のかみ込んだ枝を取り出す際は、直接手を入れず道具等を使用して取り出してください。
- 本機投入口より飛び出した長い枝などは粉碎の際に大きく振れることがありますので、軽く手を添えて作業を行ってください。または、安全な距離を保って作業してください。
安全の為に、長い枝を粉碎される場合には40cm程度に切断して入れる事をおすすめします。
- 投入口内に詰まりそうな場合は付属の押し込み棒で押し込んでください。
- 作業中には収集ボックスが満杯になっていないか確認して、粉碎物が満杯になる前に捨てるようにしてください。
本機の排出口が詰まると、粉碎物が排出されずに引き込みが弱くなり、投入口の中に枝等が詰まってしまいます。
- 投入口のつまりを防ぐために、一度に多くの粉碎物を入れないようにしてください。
- 数日間保管された枯れ枝・乾燥した枝などは、硬くなって粉碎できない場合があります。剪定したばかりの生木でお使いください。
- つるや葉などの柔らかいものは、細かく粉碎できない場合があります。
- 葉の付いた広がった枝などは、粉碎前に切りそろえてください。
- 本体後部の換気口は塞がないようにしてください。

操作方法

⚠ 注意



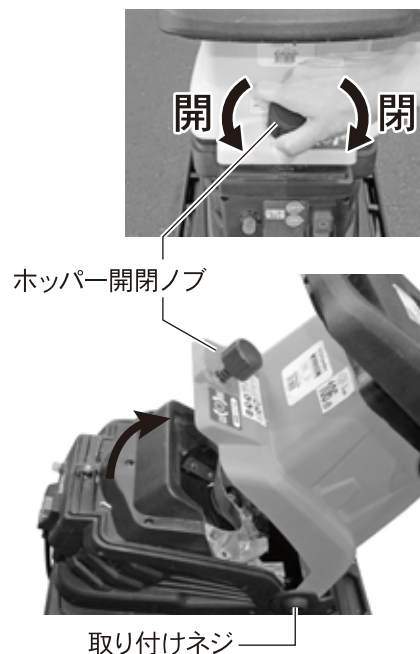
必ず守る

- ホッパーを開ける場合は本機のスイッチが切れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 粉砕物を取り除く際は、手袋・保護メガネを着用してください。

内部で粉砕物が詰まったとき

モーターに異常な負荷が生じた場合にはプロテクターが作動し、電源が自動的に切れます。押し込み棒を使用しても投入口内の粉砕物が取れない場合は、ホッパーを開けて取り出してください。

1. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押して本機を完全に停止させ、電源コードをコンセントから抜いてください。
 2. ホッパー開閉ノブを反時計回りにまわしホッパーを開けます。
 3. 本体内部の粉砕物やくずなどを完全に取り除いてください。
 4. ホッパーを閉じて開閉ノブを時計回りにまわし、しっかりと締め付けてください。
- ※ **ホッパー開閉ノブの締め込みが不十分な場合、安全装置が解除されずモーターが作動しません。**
5. 約2～3分待ってからブレーカーボタンを押して解除してください。次にONボタン（緑）を押して再始動してください。



ブレードの点検・交換

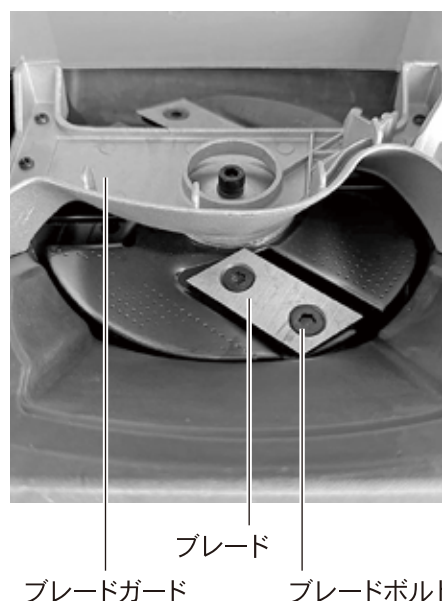
⚠ 注意



必ず守る

- ホッパーを開ける場合は本機のスイッチが切れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 作業を行う際は、必ず手袋を着用してください。ブレードは非常に鋭利ですので十分に注意してください。

1. ON/OFFスイッチのOFFボタン（赤）を押して本機を完全に停止させ、電源コードをコンセントから抜いてください。
ホッパー開閉ノブを反時計回りにまわしホッパーを開けます。
 2. 作業しやすいようにホッパー部両側の取り付けネジを外して、ホッパー部全体を取り外してください。
 3. ブレードにゆるみ、かけ、きれつが無いか確認してください。
 4. ブレードはリバーシブルになっています。
ブレードディスクを固定して、付属の六角レンチを使ってブレードボルトを緩め、取り外してください。
ブレードを半転させ、反対側の鋭利な刃を使えるように、ブレードの取り付け表面部分をきれいに掃除し取り付け直します。
 5. ブレードの点検、交換後は、必ず正しく取り付けられているか十分にチェックしてください。
 6. ホッパーを閉じて開閉ノブを時計回りにまわし、しっかりと締め付けてください。
- ※ ブレードが外しにくい場合は、ブレードガードを取り外してから作業してください。



トラブルシューティング

<p>枝が切れない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレードが摩耗している。 ブレードの状態を確認して摩耗している場合は交換してください。(P.12 参照) ● 切断部まで届いていない場合がありますので、押し込み棒で押し込んでください。 ● 投入する枝の太さを確認してください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 粉碎する枝が乾燥して硬くなっていないか確認してください。 数日間保管された枯れ枝・乾燥した枝などは、硬くなって粉碎できない場合があります。剪定したばかりの生木でお使いください。 つるや葉などの柔らかいものは、細かく粉碎できない場合があります。
<p>モーターが 作動しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードがコンセントから抜けていないか確認してください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体のブレーカーボタンが作動していないか確認してください。(P.10 参照) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● ホッパー開閉ノブがしっかりと締まっているか確認してください。 ホッパー開閉ノブの締め込みが不十分な場合、安全装置が解除されずモーターが作動しません。(P.12参照) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 収集ボックスが正確にセットされているか確認してください。 収集ボックスが正確にセットされていなければ電源が入りません。(P.10参照) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 延長コードは規格に合ったものを使用してください。(15A・2.0mm²) ● コードは10m以上長くされると、電圧の低下により安全装置が誤作動したり標準の能力が発揮できない場合がありますので、コードリールなどの延長コードは使用しないでください。 ● 家庭用の同じ電源で大容量の使用がないか、ブレーカーの確認をしてください。(違うコンセントでもブレーカーが同じ場合があります。) 電圧が低いと正しく作動しません。
<p>投入口に詰まる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 切断部まで届いてない場合がありますので、押し込み棒で押し込んでください。 一度に投入する量を減らして少しずつ入れてください。 ● 詰まった枝・葉が取れなければホッパーを開いて取り除いてください。 (P.12 参照) ● 収集ボックス内を確認してください。 ボックス内が一杯になって排出口がふさがっていると、排出することができずに詰まる場合があります。

メンテナンス

- 本機を長くご使用いただくために大切に扱い、定期的に掃除をしてください。
- 本体後ろ側にある換気口は常にきれいに掃除をし、埃などが無いようにしてください。
- 本機は屋内か、屋根のある雨水などがかかからない湿気の少ないところに保管してください。
- 洗剤や溶剤は本機に損傷を与える可能性があるため、使用しないでください。化学薬品を使用するとプラスチック部品が破損する可能性がありますので使用しないでください。
- 本機を長期間使用しないときは、サビ等を防ぐためにサビ止め・潤滑油などをブレードに塗布してください。
- 各部のネジ(ボルト・ナット)は使用前、収納前に緩みなどが無いかチェックしてください。



キンボシ 株式会社

- | | | | |
|----------|-----------------------------------|---------------------|------------------|
| ■本 社 | 〒675-1334 兵庫県小野市大島町743 | TEL 0794-62-2391(代) | FAX 0794-63-5211 |
| ■東京支店 | 〒343-0821 埼玉県越谷市瓦曽根2-6-34 RSビル205 | TEL 048-993-4581(代) | FAX 048-993-4582 |
| ■九州支店 | 〒841-0005 佐賀県鳥栖市養父町473番地2 | TEL 0942-85-9277 | FAX 0942-84-2700 |
| ■新潟三条出張所 | 〒955-0063 新潟県三条市神明町2番1号 | TEL 0256-32-9971 | FAX 0256-32-9671 |

—— 部品のご注文はお買い上げいただいた販売店まで ——

URL: <https://golden-star.co.jp> ホームページでも受付いたします

5416Bc-2604